

# まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ 2022年 10月 No.9

## 議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に  
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み  
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

やる気!  
で行動  
元気!  
は取り柄  
勇気!  
を持って挑みます!!



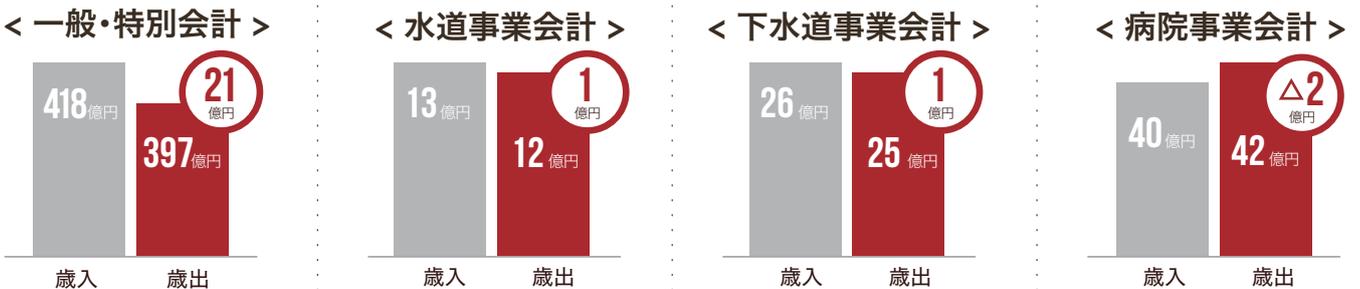
8月にはとても多くのコロナ患者が増えました。多くの皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。そして、医療従事者の方々には本当に感謝申し上げます。7月から郡上の風物詩である郡上おどり・白鳥おどり・白鳥の拝殿踊りが3年ぶりに行われました。コロナ禍ではありましたが、踊りの実行委員の方々のご努力があって踊りが行われたことは大きな前進ではないでしょうか。

また、食の祭典in郡上2022も規模は縮小しましたが行われました。ウィズコロナ、アフターコロナで前進ができ持続可能な郡上市になります様により頑張っています。

## 令和4年 第4回定例会報告 9月7日～9月30日

人事案件、条例の一部改正、令和3年度決算認定、補正予算などの議案を含め33件の認定意見書1件 / 陳情書1件 (全会一致採択)

### 01 令和3年度 会計歳入と歳出



病院事業会計の落ち込みは、医療収益の減少、光熱水費、燃料費などの経費や減価償却費の増加により、前年度以上に厳しい状況となったためです。そして、変わらない厳しい財政です。引き続き評価・監視を行い、提言や立案につながるよう努めます。

### 02 陳情書

免税軽油制度の継続を求める陳情書 (現行の制度を継続)

### 03 意見書

軽油引取税の課税免除制度の継続を求める意見書 ▶▶ 国に提出



## 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金付事業

給付金  
情報

対象世帯

- ① 基準日において世帯全員の令和4年度分住民税均等割が非課税の世帯
- ② 令和4年1月以降に家計が急変し ①と同様の事情にあると認められる世帯

支給額

1世帯当たり5万円 (1回限り)

マイナンバー  
カード利用の point



マイナンバーカードを利用して  
コンビニエンスストア等で諸証明  
を取得すると  
(住民票・印鑑証明など)

手数料 1/3 OFF!!

令和4年10月25日～令和7年3月31日

マイナンバーカードの作成をお願い申し上げます。



郡上市公式  
Webサイト ▶

田代 まさよ

住所 郡上市白鳥町中西488-1  
携帯 090-5036-3971

fax 0575-84-1835

E-mail mchk2633m@gmail.com

# 9月定例会 私の質問と市の答弁

## 人口減少時代における地方創生について



**質問** まち・ひと・しごと創生の市での進捗状況は

**答弁** 三輪市長公室付部長

自然増の戦略として「安心して子どもを産み育てられる環境の充実」と「結婚活動の支援」がある。社会増の戦略として「移住・定住施策の充実と関係人間の獲得」がある。令和3年度の実績値では、**自然増では80%を超え、社会増の移住の達成率は78%であった。高水準で推移出来ている**と考える。

**質問** 令和7年の**目標人口38,000人**はどのような**観点**からの目標か

**答弁** 河合市長公室長

国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が平成30年3月に公表した、**平成27年国勢調査の結果から推定**し、「日本の地域別将来推計人口」において様々な施策を講じ38,000人を目標とした。令和2年の国勢調査の結果では、市の**人口減少率は7.3%と統計開始以来最も高く厳しくうけて**いる。

**質問** 単純に人口増の数ではなく**同時に「人のつながり」**が大切になるのではないかと考え、取り組みは

**答弁** 三輪市長公室付部長

「自然増」「社会増」の両面で取り組みを行っていく。次代の市を担う人材育成していくために、**中高生の地域づくり活動に対する「興味・関心」を高め**、だれもが暮らしやすい地域をつくる活動に参加しようとする意識の醸成を目指し、**若い世代に地元志向となる意識付けを高め**ている。「人のつながり」では、「郡上カンパニープロジェクト推進事業」「ワーケーション推進事業」等により**市の外の人と市の中の人とが繋がる中で、地域を応援してもらえる関係づくり**に取り組んでいる。将来の担い手としての**Uターンや多様な分野で全世代が活躍する社会の実現**につながると考えている。

## 「日本一のおどりのまち郡上」について



**質問** 郡上おどり・白鳥おどり・白鳥の拝殿踊り(**郡上のおどり**)の**取り組み**の進捗状況は



**答弁** 可児商工観光部長

9月3日時点での入込客数は郡上おどりで72,000人、白鳥おどり13,650人、白鳥の拝殿踊り500人。今年の踊りの運営については、コロナ感染予防対策を万全に行うために多くの市民の方(計359人)のご協力をいただいた。コロナ対策としては、入場ゲートを設け感染対策の徹底、入場パスの配布、ディスタンス確保の呼びかけ、露天の出店の見合わせなど行い実施した。地区の**高齢化や人手不足など様々な課題も顕在化してきた。よりよい運営のための検討を地域の皆さんと進めて**いきたい。

**質問** 踊りの文化を郡上市民が知ってこそ日本一、踊り文化を継承してこそ日本一、郡上市のどの学校の子どものでも郡上のおどりが踊れることが日本一につながると思う。郡上のおどりを通じて**愛郷心を育てることはとても大切なこと**であり、郡上を離れてもまた戻って来てくれることにもつながると考える。**学校での取り組みは、今一度踊りを盛り上げていくために市が取り組めることは。**

**答弁** 可児商工観光部長

多くの市民の方が「郡上のおどり」にかかわり、踊りを知り、守り、踊りを通じて郷土愛と誇りを抱いてもらうことを目指している。**市内で郡上のおどりを授業や授業の一環で実施しているのは28校中14校**である。子どもたちが「郡上のおどり」を体感できるような環境づくりについては、**教育委員会と協議をしながら進めたい。マイ下駄づくりのように、楽しみながら愛着を感じて頂けるような事業を進めて**いきたい。